

令和3年度 小金井市立南小学校 授業改善推進プラン（4年生）

【児童の実態】

- ・素直でどんな学習課題にも取り組むことができる。
- ・学び方・考え方を知り、深い学びを実感できる児童を育てたい。

	児童の実態（1学期）	育てたい力（2学期以降）	授業改善の具体策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○説明文では、重要な語句に着目して、段落相互の関係を読み取ることができる。 ○大事などころを端的にまとめたところが捉えられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大切な言葉を落とさず要点を捉えたり要約したりする力。 ○自分の経験と結びつけて自分の考えをまとめ、表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○叙述に即して文章を読み、要点を捉えるよう促す。要点を基に文章全体を要約するように促す。 ○表現する機会を多くするとともにICT機器を活用し、お互いに見合える機会も多く設定する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を見て情報を読み取ることができるが、二つ以上の情報を関連付けて考えることは課題である。 ○関心を持ったテーマについての調べ学習を積極的に行っている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○二つ以上の情報を関連付けて考える力。 ○学習したことを自らの生活に結び付け、生かそうとする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を提示し、何を伝えたい資料なのか考えるように促す。 ○二つ以上の資料を提示して、関連付けた考えを書いたり発表したりする機会を増やす。 ○ニュースや新聞にも興味をもって観るよう促す。 ○リフレクションの視点を伝え、感想で終わらないようにしていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○大きい数やわり算の筆算、小数では、計算の仕方がよく身に付いていた。しかし、繰り下がりや九九にミスがあり、答えの間違が多かった。前年度までの四則計算の定着練習が必要である。 ○文章題を図に表したり、角の大きさの活用問題に苦戦する児童が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を生かして問題を解決することができる力。 ○基本的な四則計算ができる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項の確認をていねいに行い学習がつながっていることを意識させる。 ○マス計算を授業の導入で行い、計算力を高める。 ○黒板掲示、教室掲示を工夫し、いつでも児童が振り返れるようにしておく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○問題に関する予想を生活経験から考えること、その予想と実験結果の比較はできているが、結果の考察やまとめまで結びつけることが難しいこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実験して分かったことを生活の事象に置き換えて考え、活用する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実験をして、結果、結論を出した後の考察をする時間を十分に取る。 ○実験をする中で、生活の事象とつながっているものを話題として取り上げていく。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に音楽に関わり、リズム打ちや身体表現（手話）、歌唱など楽しく音楽活動しようとしている。 ○感じ取ったことを言語化し、伝え合う学習に個人差があり発達段階に達していない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○正しい音の高さや音価で演奏する力。 ○簡単な旋律をリコーダーで演奏することを楽しみ、旋律感・フレーズ感・速度・強弱・音の高低などに着目して演奏したり鑑賞したりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リズム→リズム譜→階名唱→技能→読譜→理解がイタルに展開し読譜力を高める。 ○新たに学ぶ単音、短いフレーズ、大切な箇所を全員リレ形式、スモールステップで行い定着させる。 ○振り返りノート、拡大楽譜等を活用し感じたことを言語化し、伝え合うことや共有する学習に重点を置く。

<p>図画工作</p>	<p>○意欲的に制作に取り組み、基本的な道具を正しく使えるようになった。 ○表現することは、とても得意な児童が多いが、発達段階に達しない児童もいる。</p>	<p>○新しく触れる道具や材料に慣れ、思いどおりの表現になるように、工夫できる力。 ○友達の作品のよさや面白さについて気づき、表現する力。</p>	<p>○道具や材料の特徴に気付けるように、安全に配慮しながら体験し創作する。 ○毎回の題材ごとに鑑賞を行い、言葉にして発表を行う。</p>
<p>体育</p>	<p>○各運動における個人差がある（技能面・運動に取り組む態度）。 ○ゲーム領域において、勝敗にこだわり結果を受け入れられない児童がいる。</p>	<p>○自分の力に合った課題を考え、解決に向けて運動や練習の仕方を工夫していける力。 ○ねらいに沿ってゲームができ、振り返りを次に生かせる力。</p>	<p>○学習カードを活用し、考えながら運動をしていく意識を高める。 ○めあてをもって、その達成を目指して取り組めるようにする。振り返りの時間を取って、次時のめあてに生かしていけるようにする。</p>
<p>特別の教科 道徳</p>	<p>○価値項目について真剣に考え自分のよりよい在り方を追究する姿に個人差が見られた。</p>	<p>○授業で考えた道徳性を生活に活かして行動に移せる力。</p>	<p>○道徳性のよさを授業で押さえ、生活に活かしていこうと心から思えるような授業づくりをする。</p>